

大正10年頃の

「紺屋町」界隈

写真提供・塩山 剛さん（西今町）

写真は、今のリユースプラザ津山「くるくる」の少し西辺りからさらに西を見た様子です。写真の左側が南で下紺屋町、右側が田町の武家屋敷です。あまりの変わりようで、すぐに分かる人は少ないのではないのでしょうか。

江戸時代、紺屋町は文字通りの染物屋の町で、鍛冶町や桶屋町などと同様、職人の住んだ町です。紺屋町と田町との境には、道の真ん中を水路が流れ、



現在の紺屋町界隈

このコーナーは歴史的文化資産のデジタルアーカイブ（古写真のデジタル化）事業の成果の中から紹介しています

問い合わせ先 津山郷土博物館 ☎22-4567

その脇に柳の大木が植えられた東西の通りがありました。水路では染料を洗い流したりしていたようですが意外と水深があり、よく人がはまったそうです。今は埋められて暗渠になっていますが、昭和40年代までは水路が残っていたので、思い出す人も多いかもしれません。

奈良県大和郡山市に、同じ「紺屋町」という名の通りがあります。美観地区として保存整備され、藍染体験館もあって、市民や観光客に喜ばれています。が、この古写真とそっくりなので驚きます。

時代の流れの中で、まちが発展し便利になることと引き換えに、貴重な歴史遺産が消えてしまったことは、とても残念ですね。

表紙について

アイススケート教室
1月11日、アイスランド津山

アルベールビル五輪の銅メダリスト・川崎努さんを講師に迎えたアイススケート教室が開かれました。最初はこわごわとリンクに入った子どもたち。終わるころにはスイスイと楽しそうに滑っていました。

つ・ぶ・や・き

編集室



今シーズンの営業も残りわずかとなったアイススケート場「アイスランド津山」に子どもたちの歓声が響いています。「自分の意志に関係なく、勝手に滑ってしまう」「思いどおりに滑る」どちらも楽しそう。運動不足になりがちな冬、大人も滑ってみませんか。(2)

真っ白に降り積もった雪。ごちゃごちゃしたものが雪で覆われ、見慣れた景色が一枚の絵になる…。キンと張りつめた透明感のある空気を胸いっぱい吸い込むと、不思議と自分まで澄んだ存在になったみたいを感じる…。やっぱり雪って大好き。降ってほしいな。(和)

子どもから風邪をうつされてしまいました。治ったかなと思ってもぶり返してばかりで、なかなかマスクをとることができません。春まであともう少し。暖かい季節が待ち遠しいですね。皆さんも健康には気をつけてください。(畠)

編集・発行（毎月10日発行）

津山市総合企画部市長公室（市役所3階）〒708-8501 岡山県津山市山北520番地
☎0868-23-2111(代) ☎0868-32-2152 Eメール kouhou@city.tsuyama.okayama.jp

☆広報つやまはホームページで閲覧できます
<http://www.city.tsuyama.okayama.jp/>



広報つやまは、環境保護のため再生紙と大豆油インキを使用しています。読み終えた後はリサイクル(雑誌)にご協力ください

